

【別紙 1】 主任介護支援専門員更新研修の指導事例提出について

奈良県主任介護支援専門員更新研修の申込みにあたり、令和 6 年 4 月 1 日より法定研修体系が改正されました。主任更新研修を受講されるにあたり、ご自身が他の介護支援専門員の指導をした事例提出が必要です。事例の提出が無い場合は、受講ができません。（指導した介護支援専門員は、自事業所・他事業所所属は問いません）

指導事例内容については、下記の一覧表を確認のうえ、提出予定の事例に当てはまる項目①～⑦から、必ず 3 つ以上選択した指導事例 1 事例提出をお願いします。（選択する際には、課目名・事例概要例及びキーワード例をよく確認してください）

項目	課目名	事例概要例 及び キーワード
①	脳血管疾患に関する指導事例	<u>事例概要例</u>：脳血管疾患発症から急性期・回復期・維持期と進み、心身機能や生活機能が向上・維持を支援し、また再発予防するケアマネジメントを指導した事例 <u>キーワード</u>：医療との連携（リハビリテーション・薬物療法・退院支援）、再発予防と生活機能の回復、活動・参加への支援、リハビリテーション、生活習慣の改善、セルフマネジメントへの移行 など
②	大腿骨頸部骨折、その他の骨折に関する指導事例	<u>事例概要例</u>：大腿骨頸部骨折をはじめ高齢者の骨折後、いままでの生活を継続できるように、多職種との連携による心身機能や生活機能の向上・維持を支援し、また再発予防するケアマネジメントを指導した事例 <u>キーワード</u>：医療との連携（リハビリテーション・退院支援）、再発予防と生活機能の回復、住環境の整備、活動・参加への支援、生活習慣の改善、セルフマネジメントへの移行 など
③	心疾患に関する指導事例	<u>事例概要例</u>：心疾患に対し、医療機関と連携し、個別化医療、多職種によるアプローチにより再入院を予防し、生活機能を維持し、また EOL（エンドオブライフケア）への準備を含めたケアマネジメントを指導した事例 <u>キーワード</u>：医療との連携（利用者にあわせた個別化医療）、再入院の防止、本人や家族の心理的な支援、自己管理能力の向上支援、EOL に向けた準備、ACP（アドバンスケアプランニング） など
④	認知症に関する指導事例	<u>事例概要例</u>：認知症に対し、要介護者等及び家族を支援するに当たり重要となる医療職をはじめとする多職種や地域住民との連携方法等ネットワークづくりの実践についてケアマネジメントを指導した事例 <u>キーワード</u>：アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、BPSD、進行段階にあわせた医療との連携 など
⑤	誤嚥性肺炎に関する指導事例	<u>事例概要例</u>：誤嚥性肺炎の特徴を理解し、多職種によるアプローチにより誤嚥リスク評価、生活の場面における予防、食事・栄養・リハビリテーション・口腔ケアなどケアマネジメントを指導した事例 <u>キーワード</u>：高齢者の誤嚥性肺炎の特徴、リスク要因の把握、多職種との連携による再発予防の取り組み、栄養状態、口腔・嚥下機能、食事介助・環境、口腔ケア など
⑥	看取り等における看護サービスの活用に関する指導事例	<u>事例概要例</u>：末期癌など終末期における医療機関・訪問看護との連携、疼痛緩和・トータルペイン、段階ごとのターミナルケアマネジメント、ACP、家族へのグリーフケアへの支援するケアマネジメントを指導した事例 <u>キーワード</u>：ターミナル期における医療機関・訪問看護との連携、鎮痛ラダー・トータルペインの理解、ターミナルケアマネジメントの理解、本人の尊厳保持と意思決定支援、グリーフケア など
⑦	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な指導事例	<u>事例概要例</u>：家族の概念理解と変化、他法他制度の活用、社会資源の理解・発掘、難病・障害福祉への理解、虐待・経済困窮・ヤングケアラーなどへのアプローチ、行政等との連携に関するケアマネジメントを指導した事例 <u>キーワード</u>：本人家族の多様性、他法他制度の活用、社会資源の把握・活用、成年後見制度、高齢者虐待防止、経済困窮、ヤングケアラー、地域ケア会議 など

《注意事項》

- 【別紙 2】の事例提出書類は、受講決定通知が届いた後、令和 7 年 7 月 7 日(月)必着にて事務局に 10 部コピーをして提出してください。
- 研修科目の演習で事例を扱いますので、指導事例は必ず必要です。

【別紙 2】 令和 7 年度 主任介護支援専門員更新研修 事例提出書類（重要）

事例シートについては、奈良県介護支援専門員協会ホームページよりダウンロードして、使用してください。

①事例様式－ 1：指導事例シート（表紙）

（例）選択 ①～⑦の中から 3 つ以上選択し○をつけます。その中で主要なものに◎を付けて下さい。

事例タイトル例 『 認知症の進行により意思決定が難しい利用者と家族の意向との間で悩む
介護支援専門員を指導した事例 』

【注意】◎を付けていただきますが、その項目で事例発表ができないこともあります。

②事例様式－ 2：利用者基本情報（表面・裏面）

③事例様式－ 3：事例まとめシート

④事例様式－ 4：課題整理総括表（指導前・指導後）

⑤事例様式－ 5：介護サービス計画書（指導前 1 部・指導後 1 部）

※事例様式－ 5 は、指定の様式はありませんが、事業所独自の書式ではなく標準書式を使用してください。

※指導前と指導後が分かるように、指導後の変更した部分にマーカーを引いてください。

⑥事例様式－ 6：令和 7 年度奈良県主任介護支援専門員更新研修個人情報に関する誓約書

受講決定通知が届きましたら、令和 7 年 7 月 7 日（月）必着にて、上記①～⑤を

10 部コピー（1 部ずつホッチキスで綴じる）及び⑥の原本を事務局に郵送にて提出してくださ

い。①～⑤の原本は各自で保管をお願いします。

【事例作成にあたっての注意事項】

※事例作成にあたっては、個人・事業者等が特定されないように、配慮をお願いします。

（修正例）

①氏名・事業所名・病院名など、イニシャルではなく「A 氏」「B 訪問看護」「C 病院」と修正してください。

②年齢は「80 歳代」など、住所は「橿原市」などとし、細部まで記入する必要はありません。

③提出前には再度修正できているか確認いただきますよう宜しくお願いします。

提出後、事務局で再度確認させていただき、修正させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

※事例様式－ 4 の記入方法については、W A M N E T の介護保険最新情報 Vol.379「課題整理総括表・評価表の活用の手引き」を参考にしてください。